

第一一〇回 楽々俳句会(ちば)

令和六年八月八日(木) 晴 吟行なし

会場 支援センター九階 十時集合

兼題「広島忌」 投句三句 五句選

武久久久武

- 3 1 原爆忌語る老爺の広島弁
- 1 1 炎天の街行く人に影重し

- 5 市街地の古地図指差す原爆忌
- 1 やるせなき思いを胸に草むしる

武久 原爆忌語り部つなぐ女子学生 宣子

女子学生 下五を字余りせず五で決める

武 1 2 声なき声禎子折鶴広島忌 宣子

武 1 1 人の世の哀しみを見し原爆忌 育子

久 1 「水ください」最後の言葉原爆忌 弘子

久 3 千手院地獄絵に見ゆ原爆忌 粹歩

久 3 雨戸打つ雷雨も良しとす響きかな 今日子

武 3 日時計の投下の線や広島忌 久登

久 2 燃えるよう空家の庭にカンナ咲く 弘子

久 1 果しなく歴史引きずる原爆忌 武彦

久 1 式典の鳩の演舞や広島忌 武彦

久 1 2 踏み入れば静寂やぶる蝉しぐれ 豊隆

久 1 2 ひと折の鶴に手合わず原爆忌 今日子

久 1 1 語部の甲走る声原爆忌 成子

久 3 向日葵の笑う大空鬼ごっこ 利太郎

久 2 冷房に入りて整う顔まわり 入り整へる ミチ子

久 1 消ゆることなき夏のパリもう遠し 今日子

久 1 朝練の声の転がりカンナの緋 消ゆる事なき夏のパリ旅行かな 洋子

久 1 盆の月遠く縮めて着陸す 恵美子

久 1 海風の少し入りたる夏料理 育子

1 戦知らぬ兄は水兵原爆忌 洋子

1 戦知らぬ吾 知らない吾を入れると分かり易い ミチ子

1 語り部の記憶受けつぐ原爆忌 洋子

1 向日葵の校舎の窓にゆれており 静代

1 鳩舞うや平和に黙禱原爆忌 利太郎

1 朝やけの大空に祈る原爆忌 静代

1 涼さを求めて電車上野発 八十歳の平和の祈り原爆忌 夫婦の

八十歳の平和の祈り原爆忌

左見右見して買わずに夏まつり

目玉焼じうじゆ焼ける広島忌

広島忌トーストに置く目玉焼き

プールにも熱中症の拡声器

演歌聞く昭和の空に雲の峯

ピョピョの改札抜くる夏休み

夏休改札抜くる手繋ぎつ

君と行った七夕かざり中を歩く

君と行く七夕飾り触りつつ

朝体操鎮守響もす蝉時雨

響もすや朝体操の杜の蝉

落日や昭和百年原爆忌

青春の昭和も遠く原爆忌

朝散歩ちよつと一息にわか雨 季語なし

最後尾匂い漂ふ鰻の日

ビール腹水分補給言訳か

大暑夜のきれきれに聞くパリの朝

熱帯夜五輪の最中パリは朝

参加者 成子・洋子・育子・宣子・静代・恵美子・ミチ子・弘子・今日子 豊隆・利太郎・粹歩・武彦・久登

投句 静代 欠席 信雄 園子

次回予定 九月十二日 十時活動センター 兼題「吾亦紅」

十月十日(木) 千葉公園トイレ前 九時集合 十時活動センター

十一月十四日(木) 千葉神社 九時集合 十時活動センター

十二月十二日(木) 登渡神社 九時集合 十時参集殿 茶話会